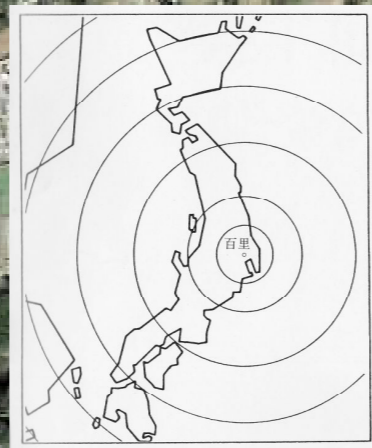


## 九条の丘(旧射撃場山)

海軍航空隊時代に築かれた人工の丘で、反対運動のシンボルの一つ。1978年から新一坪運動を行い、500名を超える地主がいる。1976年に「自衛隊は憲法違反」の大看板を設置した。ここからは百里基地が丸見え。



## 平和農園

基地隣接地を開墾し、1978年からサツマイモなどを栽培した。1994年からは田んぼに転換し、米づくりを行ってきたが、現在休止中。



## 百里作業チームの活躍

2016年4月から「百里作業チーム」が発足し、「平和公園」と「九条の丘」の整備・管理作業を月2回以上行っている。除草作業、建物の補修などによって、平和公園は見違えるように綺麗になり、九条の丘は「自衛隊は憲法違反」の大看板がよく見えるようになった。



## 九条の丘

## 平和農園

## 平和公園

## 航空自衛隊・百里基地

2016年にF15戦闘機の飛行隊がF4ファントム戦闘機の飛行隊と交代した。現在、F4の飛行隊が2つと偵察飛行隊など約50機が配



備され、毎日激しい訓練が行われている日本最大の航空自衛隊の実戦基地である。2020年度までにF4が退役しF2戦闘機と交代する予定である。「首都防衛の基地」とされているが、首都圏にある横田・厚木などの米軍基地の防衛も重要な任務である。



海兵隊(岩国)のFA18

1989年からは日米共同使用基地となり、2007年からは沖縄の負担軽減に伴う米軍機の訓練移転基地となった。

## 基地正門

## 民間機滑走路

## 自衛隊滑走路

## 管制塔

## 基地格納庫群

## 平和公園

基地のど真ん中であって、誘導路を「く」の字に曲げている反対運動の拠点。百里稲荷神社、展望台、日本山妙法寺の石塔とお堂、一坪運動地、平和地主運動地などがある。1989年に百里平和公園として整備された。



平和地主運動地

一坪運動地

百里平和稲荷

「く」の誘導路

## 年間2万回

## 騒音

戦闘機が飛び交い、さらに旅客機まで加わり、激しい騒音が。

## 空港ターミナル

## 基地裏門

## 軍民共用

## 茨城空港

2010年3月に開港。550億円かけて建設し、年間10億円以上もつぎ込んで維持している茨城県。「ターミナルビル」



は、平和公園の目の前。民間空港といっても百里基地内にあるので、管制や管理は自衛隊が行い、いちおう民間機用とされている西側の滑走路も自衛隊機が使い放題になっている。2本の滑走路の間隔も通常より狭く、危険で金食い虫の欠陥空港である。

## 初午まつり

毎年2月11日に百里基地反対同盟の主催により、平和公園で開催され、県内はもとより全国から300人以上が集まる。百里平和稲荷の御神酒を酌み交わし、平和の誓いを新たにしている。



## 訪問、大歓迎

いつでも訪問、大歓迎です。平和公園も九条の丘も案内します。作業参加も歓迎します。

